

# 令和 4 年度 事務事業外部評価（案）

静岡市上下水道事業経営協議会

令和 5 年 9 月 8 日

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
<p><b>記載例</b></p> <p>「施策評価シート」の施策名です。</p>	<p>「第2回協議会」で示した「上下水道局の自己評価」の記載です。 (課名は、評価責任課)</p>	<p>「上下水道局の自己評価」を受けて、皆様に回答いただいた外部評価及び意見を記載しました。 _____…主な意見 _____…その他の意見 <u>文字斜体</u>…質問等にて回答</p>	<p>「外部評価（各委員の評価）」を、まとめたものです。今回協議会においては皆様の評価が、「まとめ(黒枠内)」に反映されているかを御確認ください。外部評価（案）と評価区分が違う意見については、「なお」書きとして記載しています。</p>
<p>1 危機管理を強化する。 (1) 重要な管・施設の地震対策</p>	<p>① 水道管の耐震化 «水道基盤整備課» [c 評価]</p> <p>活動指標は、令和4年度計画「3.2km」に対し、令和3年度工事繰越完成分「0.6km」を加えた「1.7km」の実施となり、未達成となった。</p> <p>また、成果指標の「基幹管路の耐震管率」は令和4年度計画の「42.2%」に対し、「41.5%」の実績で達成率は98.3%となったため、「a」評価となるが、活動指標が「未達成」であるため「c」評価とした。</p> <p>(「a」以外となった理由等)</p> <p>具体的な取組として、清水区興津清見寺町配水本管布設替工事や葵区門屋送水管布設替工事など9件の工事は完了したが、日本平公園整備事業に伴う送水管布設替工事において、管路の布</p>	<p>① 水道管の耐震化」に対する評価 委員 13 名のうち、[c 評価] 7 名 [a 評価] 1 名 [b 評価] 5 名</p> <p>・<u>成果指標の達成率が98.3%で、「a」評価でもよいのではという考え方もあると思うが、私自身はやはり今年度の実績を評価したいと思うので、「a」評価というわけにはいかないと思う。毎年毎年、地道に実績を積み重ねていくしかないと思うので。</u></p> <p>・<u>達成率は98.3%となったことで、a 評価となるが、活動指標が未達成であることから「b」評価として良いのでは。</u></p> <p>・<u>管路の敷設は年度内完了したが、インターロッキングブロックの調達が困難となったことについて、常に資材確保状況を把握しておくべきではないのか。</u></p> <p>・<u>活動指標は「c」評価だったが、成果指標は「a」評価であるがゆえに、「c」の評価は厳しすぎると思う。よって間の評価である「b」評価とした。</u></p> <p>・<u>成果指標が概ね達成に近いにもかかわらず、大変厳しい評価と感じる。</u></p> <p>・<u>活動指標の計画値は予定当年度予算の施工目標であるなら、繰越予算による施工分を含めて評価することは、活動（＝事業執行）の達成・未達成の判断としてどうでしょうか。繰越の発生が常態的でその額も例年変化する中で、各年度の成果指標に大きな遅れが生じていなければ十分と思う。【「b」評価】</u></p>	<p>[c 評価]</p> <p>水道管の耐震化については、おおむね計画どおりに進捗しているが、年度内での活動に改善の余地ありとして「c」評価とした。</p> <p>耐震化事業は、災害時の市民生活に直結する事業であるため、常に資材確保状況を把握しておくなど、整備を着実に推進するよう努めること。</p> <p>なお、成果指標である基幹管路の耐震管率の達成率を踏まえ、「c」評価は厳しいとし、「b」とする評価も多くあった。</p>

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>設 1.2 k mは年度内に完了したものの、一部舗装で使用するインターロッキングブロックの調達が困難となり、受注者・納入業者と調整したが年度内に工事の完成ができなかった。なお、工事は令和5年5月に完成した。</p>		

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>「② 下水道管の耐震化」            «下水道維持課» [a 評価]</p> <p>下水道管の耐震化について、重要な下水道管の耐震化を令和4年度計画「9.9km」に対し、「20.9km」の実績となった。具体的な取組として、下水道管の耐震化調査・設計及び工事を実施した。</p> <p>また、重要な下水道管の耐震管率は令和4年度計画「63.7%」に対し、「66.0%」の実績で103.6%となったが、耐震診断した結果、耐震対策が不要となった管が想定を上回り、耐震対策不要延長が19.5kmとなったため、評価は「a」とした。</p>	<p>「② 下水道管の耐震化」に対する評価            委員13名のうち、[a 評価] 13名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内部評価と同様の評価でよい。</li> <li>・もちろん実績値が計画値を上回ったというのは素晴らしいし、皆さんの努力に感謝したい気持ちだ。だが耐震診断の結果、耐震対策が不要となった管が想定を上回り、耐震対策不要延長が伸びたため評価「a」とした、というのは言ってみれば運よく「a」になったということで、評価すること自体に複雑な気持ちを禁じえなかった。もちろん「a」評価でよいと思いますが。</li> <li>・耐震診断をしないと、耐震対策が必要か不要かは分からないことが難しいと感じた。委員から「<u>例年の耐震化からある程度は予想できるのではないか</u>」と意見があった。職員の皆さんの研修で向上する専門性や経験年数などが予測には欠かせないと思うので政策5施策（2）各種研修の充実の継続に引き続き取り組んでいただきたい。</li> <li>・<u>診断による対策要否を計画値に反映させていく方が良いのではないのでしょうか。</u></li> <li>・「<u>耐震診断した結果、耐震対策が不要となった管が想定を上回り…</u>」とありますが、<u>不要と判断した理由（地盤が強固のため？）</u>を追記された方がわかりやすいと思いました。</li> </ul>	<p>[a 評価]</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>下水道管の耐震化について、計画どおりに進捗している。</p> <p>災害時に下水道施設が使用できなければ、水道は通常のように使用できないため、今後も計画どおりに着実に進めるよう努めること。</p> </div> <p>（その他の意見）            診断による対策要否を計画値に反映させていく方法を検討すべき。</p>

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>「③ 水道施設の耐震化」            «水道基盤整備課» [b 評価]</p> <p>水道施設の耐震化については、令和4年度計画では向敷地配水場工事に着手する予定であったが、原設計の見直しが必要となり、工事着手に至らず、必要となる調査業務を実施した。</p> <p>配水池の耐震化率は、他事業で実施した配水池の新設や、既存施設の廃止により、令和4年度計画「44.3%」に対して「44.8%」となり、達成率は101%となった。成果指標は計画値以上となったが、活動指標は工事着手に向けた調査に着手するなど、目標達成に向けてある程度成果が出ているが、目標達成には至らなかったため、総合的に判断し、「b」評価とする。</p>	<p>「③ 水道施設の耐震化」に対する評価            委員 13 名のうち、[b 評価] 12 名            [a 評価] 1 名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この事業も成果指標は達成率 101%となっていて計画値以上の成果が出ているが、耐震化工法指針が改定され、<u>設計の見直しが必要となったとはいえ、目標達成とはならなかった</u>ので、「b」評価でよいと思う。</li> <li>・<u>成果指標の 101%の達成率を正当に評価した方が良いのではないかと思います</u>。【「a」評価】</li> <li>・<u>耐震化の対象となっている施設は築年数もたっているということだと思いますが、地震だけでなく、設備等でも心配なのですが、そのあたりはどうなっていますか。</u></li> </ul>	<p>[b 評価]</p> <p>水道施設の耐震化について、計画どおりに進捗しているが、年度内での活動に改善の余地ありとして「b」評価とした。</p> <p>災害時の水供給に大きな影響を及ぼすことから、今後も計画どおりに着実に進めるよう努めること。</p> <p>なお、成果指標の達成率から、「a」評価とする意見もあった。</p>

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>「④ 下水道施設の津波対策」            «下水道建設課» [c 評価]</p> <p>下水道施設の津波対策について、管路吐口ゲート設置工事（以下『管路吐口』とする）は、令和4年度計画ゲート設置工事「1箇所」に対し、「0箇所」及び「管路吐口耐津波詳細設計」を実施した。</p> <p>次に、耐震・耐津波対策基本設計、実施計画策定（以下『施設耐震・耐津波』とする）については、令和4年度計画「基本設計実施1箇所・実施計画策定」に対し、基本設計実施「0箇所」で、実施計画も未策定となった。</p> <p>具体的な取組として、『管路吐口』は、令和3年度の「管路吐口耐津波詳細設計」が遅延したことにより、設置工事「1箇所」が令和4年度中に完了せず令和5年度へ繰越しとなった。</p> <p>また、『施設耐震・耐津波』は、令和4年度計画基本設計実施「1箇所」の清開ポンプ場の耐震・耐津波対策基本設計業務委託が令和4年度中に完了せず</p>	<p>「④ 下水道施設の津波対策」に対する評価            委員 13 名のうち、[c 評価] 12 名            [b 評価] 1 名</p> <p>・結果が出なかった理由についてはよくわかったが、<u>地震・津波はいつおこるかわからないものだからこそ、一日も早く、計画に沿って完了させていくことが大事だ</u>と思う。</p> <p>・大変重要かつ難しい課題だと思います。<u>管や中継施設を整えても、最終的処理をする下水道施設の津波対策がされていなくては結局排水ができなくなってしまいますので、どうぞ引き続きよろしくお願い致します。</u>（仙台の下水道処理場の施設長と市長のお話を聞いたことがあり、より関心があります。）</p> <p>・吐口とは、下水道施設から処理水や雨水を公共用水域へ放流する放流口の施設をいいますが昨今の水害被害を思うと<u>発注の遅れがないように是非お願いしたいです。</u>【「b」評価】</p> <p>・①「自己評価が「a」以外となった理由」欄において、「管路吐口耐津波詳細設計」が完了しなかった理由が記載されていないと思いました。</p> <p>入札不調が原因である場合は、<u>不調となった分析理由を付記された方がわかりやすい</u>と思います。</p> <p>「ex: 技術者や作業員不足に伴う入札不調により詳細設計の委託契約が予定より遅れて締結したため、年度内に完了ができなかった」</p> <p>②「自己評価が「a」以外となった理由」欄において、「建築指導課との協議に時間を要したため」とありますが、<u>具体的に「〇〇について確認作業に時間を要した」等にした方がわかりやすい</u>と思います（建築指導課さんのせいで遅れた的な表現になっている印象です）。</p>	<p>[c 評価]</p> <p>下水道施設の津波対策について、計画を大きく下回っている。            災害時の下水道の流下機能に大きな影響を及ぼすことから、計画どおりに着実に進めるよう努めること。</p> <p>（その他の意見）            入札不調や工事遅延となった原因について、分析し、具体的に示すべき。</p>

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>令和5年度へ繰越しとなり、実施計画策定についても完了しなかった。</p> <p>管路吐口のゲート設置工事実施率は、令和4年度計画「3.2%」に対し「0.0%」の実績で達成率は0.0%で「c」評価とし、施設の耐震・耐津波対策基本設計及び実施計画の実施率は、令和4年度計画「100%」に対し「85.7%」の実績で、達成率は85.7%で「b」評価となり、総合的に判断し「c」評価とした。</p> <p>（「a」以外となった理由等）</p> <p>「a」以外となった理由は、『管路吐口』において、前年度中に詳細設計が完了しなかったため、ゲート設置工事の発注が遅れ令和4年度内に完了せず、令和5年度へ繰越しとなった。</p> <p>また、『施設耐震・耐津波』においては、令和4年度清開ポンプ場耐震・耐津波対策基本設計業務委託における、建築指導課との協議に時間を要したため、令和4年度内に完了せず、令和5年度に繰越しとなった。</p>		

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
<p>1 危機管理を強化する。 (2) 浸水対策</p>	<p>〔① 雨水総合排水計画の更新〕          ≪下水道計画課≫ [c 評価]</p> <p>雨水総合排水計画の更新について、令和4年度計画「基本計画（長期計画地区）」に対し「基本計画（長期計画地区）策定中」となった。</p> <p>具体的な取組として、令和2年12月に公表した「基本構想」に基づき、浸水リスクが想定される地区など中期計画地区以降に対策を行う必要のある「長期計画地区」を策定中である。</p> <p>また、基本計画策定進捗率は、令和4年度計画「100%（基本計画策定完了）」に対し、「62%（基本計画策定中）」の実績で、達成率62%となったため、「c」評価とした。</p> <p>（「a」以外となった理由等）          静岡市雨水総合排水計画基本計画（長期計画地区）策定業務委託を8月に契約し、関係部局と調整しながら基本計画（長期計画地区）の策定作業を進めていたが、令和4年台風15号による浸水被害原因及び下水道施設の整</p>	<p>〔① 雨水総合排水計画の更新〕          委員13名のうち、[c 評価] 12名          [b 評価] 1名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・突発的な外的要因（昨年台風15号）によって必要となったとはいえ、<u>近年の気候変動に伴う大雨の被害を考えると、昨年の被害で終わる保証はなく、これからも雨水排水計画は更新され続けていかもしいない。覚悟を持って臨んでいかないといけない。</u></li> <li>・これまでの取組みがいかにされていると思います。達成率的には低くとも早急箇所からどんどん進めていただきたいと思います。</li> <li>・令和4年台風15号の影響で、評価が「c」になったことは致し方ない。今回の被害から、<u>今後も、気候変動による大雨に少しでも備えられるように計画を練っていただき、市民が安全で安心できる生活を守ってください。</u></li> <li>・台風15号による浸水被害原因は分析中とのことでしたので期待しています。</li> </ul> <p>【「b」評価】</p>	<p>[c 評価]</p> <p>雨水総合排水計画の更新について、計画を大きく下回っている。          災害時の浸水被害の軽減に大きな影響を及ぼすことから、計画どおりに着実に進めるよう努めること。</p>



政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>備効果の確認作業を追加したため、基本計画は策定中にとどまった。</p>		

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>「③ 雨水幹線・ポンプ場などの整備」  「下水道建設課」 [a 評価]</p> <p>雨水幹線・ポンプ場などの整備について、雨水幹線・ポンプ場などの完了地区数を、令和4年度計画「0地区」に対し、「1地区」完了した。次に対策実施地区数は、令和4年度計画どおり「4地区」を実施した。</p> <p>具体的な取組として、対策完了地区数は、令和3年度に完了予定であった「高橋二丁目・三丁目・飯田町」地区の高橋雨水ポンプ場が令和4年度に整備が完了したため、実績値は「1地区」とした。</p> <p>次に、対策実施地区数は、「高橋二丁目・三丁目・飯田町」地区「城北二丁目」地区、「追分二丁目」地区、及び「川岸町・渋川」地区の「4地区」を整備した。</p> <p>浸水対策率は令和4年度計画どおり「61.5%」の実績で、達成率は100.0%となり「a」評価とした。</p>	<p>「① 雨水幹線・ポンプ場などの整備」に対する評価  委員13名のうち、[a 評価] 13名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>異常気象が多発している昨今、内水ハザードマップなどを通して積極的に市民に対し理解を深める努力を。</u></li> <li>・<u>実施目標と活動指標それぞれの計画実績値がどうリンクするかが分かりづらい。</u></li> <li>・具体的な地区名が出ているためわかりやすいです。</li> </ul>	<p>[a 評価]</p> <p>雨水幹線・ポンプ場などの整備について、計画どおりに進捗している。  異常気象による豪雨から市民の生活を守るため、今後も整備を着実に推進するよう努めること。</p> <p>(その他の意見)  実施目標と活動指標それぞれの計画実績値がどうリンクするかが分かりづらい。</p>

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
<p>2 管・施設を効率的に運用する。</p> <p>(1) 管・施設の老朽化対策</p>	<p>「② 水道管の更新」          «水道管路課» [c 評価]</p> <p>水道管の更新について、水道管（配水支管）の更新を令和4年度計画「28.1 km」に対し、「17.6 km」実施した。具体的な取組として、駿河区登呂四丁目・登呂五丁目配水管布設替工事外55件を実施した。</p> <p>また、管路の更新率は令和4年度計画「1.20%」に対し、「0.74%」の実績で、達成率は61.7%となったため、「c」評価とした。</p> <p>（「a」以外となった理由等）          入札不調率は、令和3年度の35.8%に対して令和4年度は17.5%と半減したものの、入札不調対策として行った着手日選択制度の実施や入札不調による再発注に伴い、工事着手時期が遅れたこと、債務負担工事の施工順序（仮配管を先行したこと）により完成する路線が限られたことなどが影響している。また、資材費、人件費、残土処分費の高騰な</p>	<p>「② 水道管の更新」に対する評価          委員 13 名のうち、[c 評価] 12 名          [b 評価] 1 名</p> <p>・<u>これからも入札不調は続くと思われる。また、技術者不足や資材費、人件費の高騰など厳しい条件が待ち構えている。着実に進めていくしかない。</u></p> <p>・<u>管路の更新率は目標を達成しておらず、「c」評価が妥当。</u></p> <p>・<u>入札不調が令和3年度に対して令和4年度は半減していることから、自己評価にはつながらないかもしれませんが、水道局職員の皆さんの工夫と努力が見て取れます。</u></p> <p>・<u>繰越額が年々増加し、計画実績の乖離を広げる原因であり、取組方針にある早期発注の確保に努める必要がある。</u></p> <p>・<u>漏水による事故や、濁水の発生の軽減は市民生活に直結するためがんばって欲しいです。【「b」評価】</u></p>	<p>[c 評価]</p> <p>水道管の更新について、計画を大きく下回っている。</p> <p>老朽化した水道管の更新は、安定給水につながることから、遅れの原因となる入札不調の改善を図るような取組を継続的に検討・実施し、更新を計画的に進めるよう努めること。</p>

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>ども影響し、計画の更新延長に達することができなかった。</p> <p>なお、契約延長は令和3年度の18.6kmに対して令和4年度は33.8kmと82%増加している。</p>		
	<p>「③ 下水道管の改築」          «下水道維持課» [a 評価]</p> <p>下水道管の改築について、下水道管の改築を令和4年度計画「4.8km」に対し、「5.3km」実施した。</p> <p>具体的な取組として、老朽化が進んでいる処理区のカメラ及び目視調査・設計及び工事を実施した。</p> <p>また、管きよ100km当たりの陥没箇所数は令和4年度計画「0.4箇所/100km以下」に対し、「0.20箇所」と目標を上回り、目標達成に向けて、計画どおり成果が出ているため、「a」評価とした。</p>	<p>「③ 下水道管の改築」に対する評価          委員13名のうち、[a 評価] 13名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路陥没事故が管の老朽化が原因で起こるってこわいですね。<u>管路の健全度の維持に期待します。</u></li> <li>・上水道を「更新」下水道を「改築」と使い分けていることがよくわかりました。</li> </ul>	<p>[a 評価]</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>下水道管の改築について、計画どおりに進捗している。</p> <p>老朽化した下水道管の改築は、安定的な排水処理と道路通行の安心につながるため、今後も老朽化した管の調査・改築を計画的に進めるよう努めること。</p> </div>

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>「④ 水道施設の更新」            «水道基盤整備課» [b 評価]</p> <p>水道施設の更新について、水道施設(設備)の更新数を令和4年度計画「7箇所」に対し、「5箇所」実施した。</p> <p>具体的な取組として、葵区中央・遠方監視制御設備更新工事ほか4箇所を実施した。</p> <p>また、更新実施率はR4計画「26.7%」に対し、「24.7%」の実績で、達成率は92.5%となったため、「a」評価となるが、活動指標が「未達成」であるため、「b」評価とした。</p> <p>(「a」以外となった理由等)            「蒲原城山配水池緊急遮断弁更新工事」及び「蒲原城山配水池電気設備工事」の2箇所を完成することができなかった。理由としては、新型コロナウイルス感染症及びウクライナ情勢による機器の納期遅延が原因である。</p>	<p>「④ 水道施設の更新」に対する評価            委員 13 名のうち、[b 評価] 12 名            [a 評価] 1 名</p> <p>・水道施設の更新を推進し、安定供給につとめていただきたい。            ・達成率は高いと思います。【「a」評価】</p>	<p>[b 評価]</p> <p>水道施設の更新について、計画をやや下回っている。</p> <p>全国的に半導体や部品類の流通、供給が滞る中ではあるが、着実な更新を進めるよう努めること。</p> <p>なお、成果指標の達成率から、「a」評価とする意見もあった。</p>

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>「⑤ 下水道施設の改築」            «下水道施設課» [a 評価]</p> <p>下水道施設の改築について、下水道施設の改築数を令和4年度計画「9箇所」に対し、「9箇所」実施した。</p> <p>具体的な取組として、城北浄化センター受変電設備改築工事や清開ポンプ場汚水ポンプ設備改築工事などを実施した。</p> <p>また、成果指標である改築実施率は令和4年度計画「21.8%」に対し、「24.4%」の実績で、達成率は前年度までの実績により111.9%となったが、令和4年度活動指標の下水道施設の改築数実績は計画どおりであったため、「a」評価とした。</p>	<p>「⑤ 下水道施設の改築」に対する評価            委員 13 名のうち、[a 評価] 13 名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の故障は公衆衛生上もとても不安になるので改築実施率がとても高く嬉しいです。</li> <li>・改築工事の追いかけて終了は永遠に見えないんですね。</li> </ul>	<p>[a 評価]</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>下水道施設の改築について、計画どおりに進捗している。</p> <p>全国的に半導体や部品類の流通、供給が滞る中、計画どおりに進捗していることは評価できる。</p> <p>引き続き、着実な更新を進めるよう努めること。</p> </div>

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>「⑥ 水道管の漏水対策」            «水道管路課» [s 評価]</p> <p>水道管の漏水対策について、令和 4 年度計画「漏水調査：計 13 地区」に対し、「漏水調査：全 20 地区」を実施した。</p> <p>具体的な取組として、延長 2,214km の漏水調査を実施し、配水管等で 274 箇所の漏水を発見し修繕した。</p> <p>また、管路点検率は令和 4 年度計画「51.1%」に対し、「84.7%」の実績で、達成率は 165.8%となったため、「s」評価とした。</p> <p>（「a」以外となった理由等）            当初予定していた漏水調査の対象地区 13 地区に対し、入札差金を活用したことで、計画地区数を上回る市内全 20 地区の漏水調査が実施できた。</p>	<p>「⑥ 水道管の漏水対策」に対する評価            委員 13 名のうち、[s 評価] 10 名            [a 評価] 1 名 [評価なし] 2 名</p> <p>・<u>効果的な漏水調査と漏水対策を実施することで有収率が向上することは、何より大切なこと。頑張ってもらいたい。</u></p> <p>・配水管等で 274 箇所を発見して修繕となっているが、この数値は高いのか低いのかということがよくわからない。【評価なし】</p> <p>・<u>漏水調査および修繕をした結果、有収率が数値上どれほど改善されたのかが不明である。よって次期計画においては、当該事業の成果指標を見直すべきと思われる。【評価なし】</u></p>	<p>[s 評価]</p> <p>水道管の漏水対策について、計画を上回る実績であることを評価する。            漏水対策は早期発見・修繕が非常に重要なため、手法を工夫し、全地区調査できたことは評価できる。            漏水対策は漏水量の軽減、有収率の向上、事故の抑制につながることで、引き続き対策を進めるよう努めること。</p> <p>（その他の意見）            漏水調査および修繕をした結果、有収率が数値上どれほど改善されたのかが不明である。よって次期計画においては、当該事業の成果指標を見直すべきと思われる。</p>

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
<p>3 環境への負荷を軽減する。 （2）温暖化対策</p>	<p>【① 自然エネルギーの活用】          «水道施設課» [b 評価]</p> <p>自然エネルギーの活用について、令和4年度計画どおり「発電設備導入方針決定」を実施した。</p> <p>具体的には地熱利用による温室効果ガス排出量の低減策として、既存水道施設の休止中の井戸を設備冷却に活用することとした。</p> <p>また、再生可能エネルギー利用率は、令和4年度計画「0.16%」に対し「0.11%」の実績で、達成率は81.3%となった。次に温室効果ガス排出低減量は、令和4年度計画「103 t」に対し、「63 t」の実績で、達成率は61.1%となった。2つの成果指標を勘案し、「b」評価とした。</p> <p>（「a」以外となった理由等）</p> <p>南安倍配水場の太陽光発電設備は修繕実施の検討をした結果、設備の総取替（更新）が必要なため、修繕を実施せず、現在の発電体制を継続することとした。よって、自家消費する再生可能エ</p>	<p>① 自然エネルギーの活用」に対する評価          委員 13 名のうち、 [b 評価] 13 名</p> <p>・内部評価と同様の評価でよい。          ・何か抜本的な改革が必要なのではないかと感じています。<u>新たな自然エネルギーの導入可能性の検討に力をいれて欲しい。</u>          ・詳しくわからない分野ですが、<u>自然エネルギーの活用に関しては、もっともっと大学・企業とコラボして欲しい</u>と思います。</p>	<p>[b 評価]</p> <p>自然エネルギーの活用について、計画をやや下回っている。          新たな自然エネルギーの導入可能性の検討になお一層努めてほしい。          また、今後の導入に際しては、費用対効果を踏まえて検討を行うよう努めること。</p> <p>（その他の意見）</p> <p>自然エネルギーの活用に関しては、もっともっと大学・企業とコラボを検討してほしい。</p>



政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>ネルギーの発電量が減少し、利用率が達成できなかった。</p> <p>また、西奈配水場の電動弁修繕を令和4年5月末までに完了したが、小水力発電事業者との調整期間を含め、発電出来ない時期があり、発電量が計画を下回り、温室効果ガス排出量の低減につながらなかった。</p>		

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>「② 省エネルギー対策」            «上下水道危機管理課» [c 評価]</p> <p>省エネルギー対策について、活動指標上段の上下水道局庁舎等で使用するエネルギー量（以下、庁舎等使用エネルギー）は令和4年度計画「213kℓ」に対し、「204kℓ」の実績であった。庁舎内の昼休みや定時後不要箇所の消灯を実施した。庁舎内の照明器具はLED照明を採用している。</p> <p>次に中段「飲料水の年間生産に必要なエネルギー量（以下、飲料水生産エネルギー）は令和4年度計画「8,070kℓ」に対し、「8,398kℓ」の実績であった。具体的な取組として、取水・送水ポンプ等の効率的な運用に努めた。</p> <p>下段の下水の年間処理に必要なエネルギー量（以下、下水処理エネルギー）は令和4年度計画「12,857kℓ」に対し、「12,746kℓ」の実績であった。下水処理エネルギーでは、燃料化施設の運転や省エネ機器の導入を実施した。</p> <p>また、二酸化炭素排出低減量（平成29年度比）は、3事業合計で令和4</p>	<p>「② 省エネルギー対策」に対する評価            委員 13 名のうち、[c 評価] 12 名            [b 評価] 1 名</p> <p>・<u>評価は「c」とせざるを得ない。しかしながら省エネルギー対策は本当に難しいと思う。</u></p> <p>・<u>二酸化炭素排出量の目標達成に努力していただきたい。</u></p> <p>・<u>致し方ない状況下だったのではないかと思います。【「b」評価】</u></p>	<p>[c 評価]</p> <p>省エネルギー対策について、計画を大きく下回っている。</p> <p>省エネルギーに努める必要はあるものの、上下水道事業の性質上、これ以上の大幅な削減は難しいことは理解できる。</p> <p>しかし、公営企業の責任として、改善可能な箇所については、引き続き検討・実施するよう努めること。</p> <p>なお、致し方ない状況下だったとして、「b」評価とする意見もあった。</p>

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>年度計画「267.1t」に対し、「-274.7t」の実績で、目標達成に向けて、成果が出ていないため「c」評価とした。</p> <p>（「a」以外となった理由等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●飲料水生産エネルギー <ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年7月から自然流下方式で地区配水していた中町浄水場を廃止し、清水谷津浄水場からのポンプ圧送方式による地区配水に運用変更を行っている。その影響により、電力消費量を削減できない状況が続いているため、温室効果ガス排出量の低減につながらなかった。</li> </ul> </li> </ul>		

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
<p>4 お客様サービスを向上させる。</p> <p>（3）接客・窓口サービスなどの充実</p>	<p>「③ 地域貢献」</p> <p>«上下水道危機管理課» [c 評価]</p> <p>地域貢献について、地域貢献活動回数を令和4年度計画「20回以上」に対し、「30回」実施した。具体的な取組として、①高齢者等見守り支援1回 ②庁舎周辺美化活動1回 ③上下水道フェア1回 ④水道・下水道施設見学会26回 ⑤河川・海岸清掃1回の計30回を実施した。</p> <p>また、地域貢献参加職員数は令和4年度計画「1,000人以上」に対し、「345人」の実績となった。</p> <p>前年度より続くコロナ禍や台風15号災害対応などにより、多くの事業が実施できなかった。上下水道フェアも、当初上下水道局庁舎を会場とする取組も進めていたが、感染症拡大防止のため直前で中止となった（ただし、市HPを活用したオンライン企画は実施）。また、感染拡大状況を見据え、実施可能な活動をタイミングよく実施（美化活動・施設見学）するとともに、感染対策を徹底し対応可能な活動（施設見学（令和3年度：6回→</p>	<p>「③ 地域貢献」に対する評価</p> <p>委員13名のうち、[c 評価] 10名 [b 評価] 3名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>コロナ禍の中涙ぐましい努力をしていると思っているが、結果的に「c」評価にせざるを得ない。致し方ない。</u></li> <li>・<u>市民との信頼関係の向上を図る意味でも上下水道フェアは毎年必ず実施していただきたい。</u></li> <li>・水道・下水道施設見学会に参加したこともあり、とても有効な取組みだと思っています。大人の参加者の「水と下水」について意識が大きく変わっていました。業務中の見学で施設側の方も大変でしょうが、引き続きよろしくお願ひいたします。【「b」評価】</li> <li>・河川清掃（安倍川・興津川）を計画的に実施。市民を巻き込んだ活動で、上下水道局としてアピールすべき。</li> <li>・地域貢献活動の回数を見ると計画の回数より10回以上も多く努力していることは評価できると思う。</li> <li>・<u>参加職員数については、コロナが5類になったとはいえ、現在も感染者数が増える時期が年に数回あるので、あと3年ぐらいは計画する参加人数を減らしてはいかがでしょうか。</u></li> <li>・市民特に高齢者は多くのところで関心を持ち疑問を解決したいと思っていると思われます。<u>上下水道フェアや施設見学会等を参加しやすい形での実施を要望します。【「b」評価】</u></li> </ul>	<p>[c 評価]</p> <p>地域貢献について、計画を大きく下回っている。</p> <p>地域貢献活動から、上下水道事業を知る機会につながることから、今までと同様の取組でなく、新たな地域貢献活動を生み出し、市民との信頼関係の構築に努めること。</p> <p>なお、前年度より実績が向上したことや、コロナ禍や台風15号災害対応の中での地域貢献活動の実施について、計画を達成できないのは致し方ないこととして、「b」とする評価もあった。</p> <p>(その他の意見)</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染状況等を踏まえ、計画人数の再検討をしてはどうか。</p>

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>令和4年度：26回）を取り入れるなど、活動の見直しを図り成果も上がったが、引き続き事業の安定運営を守るため、参加職員数を制限するなど対策を徹底したことなどから、参加職員数は目標に届かず達成率は、34.5%となったため、「c」評価とした。</p> <p>（「a」以外となった理由等）            新型コロナウイルス感染予防のため対面型の取組や台風15号災害対応による復旧活動やその後の対応などにより、地域貢献活動を縮小及び中止する必要があり、地域貢献活動参加職員数が大幅に減少した。</p>		

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
<p>5 信頼される経営を確立する。</p> <p>(2) 職員の技術習得</p>	<p>「① 各種研修の充実」          «上下水道総務課» [b 評価]</p> <p>各種研修の充実について、技術・事務の専門研修への派遣を令和4年度計画「135人」に対し、「134人」派遣した。次に、契約事務・法務等の内部研修の受講を令和4年度計画どおり「350人」受講した。</p> <p>さらに、新採職員・転入者に向けた基礎研修の実施を令和4年度計画「2回」に対し、「3回」実施した。加えて、技術系職員に向けたICT研修の開催を令和4年度計画どおり「3回」開催した。</p> <p>具体的な取組として、日本水道協会、日本下水道事業団等主催の研修への派遣、上下水道局転入職員研修等の実施、デジタル技術活用研修等を開催した。</p> <p>なお、水道技術に関する資格取得度は令和4年度計画「1.7件/人」に対し、「1.5件/人」の実績で、達成率は88.2%となった。次に水道部と下水道部両部の外部研修時間は令和4年度計画「8.5時間/人」に対し、「7.2時間/</p>	<p>「① 各種研修の充実」に対する評価          委員 13名のうち、[b 評価] 13名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の中、何とかして研修の充実を試みていることはよくわかった。今後のことを考えると、<u>研修の充実が良い結果をもたらすと思うので、頑張ってもらいたい。</u></li> <li>・<u>各種研修はスキル向上、ブラッシュアップにつながるから必ず実施していただきたい。</u></li> <li>・未来の技術者を育てるべく高校生・中学生にも「こんなことをするところ」から学べる機会を作ってみたらいかがでしょうか。</li> <li>・オンライン研修は効果的だと思います。私もほぼオンラインになりましたが何度も繰り返し視聴できたり空いている時間を活用できたり経費削減にもつながっています。</li> <li>・①p59のどこかに全職員数が何人か、追記した方が良いと思いました。（その際、計画年度の途中で、人数の変更はありませんでしょうか？）</li> <li>②活動指標に新任職員研修や転入研修を含めることには違和感を感じました。</li> </ul>	<p>[b 評価]</p> <p>各種研修の充実について、計画をやや下回っている。</p> <p>研修の充実が職員のスキル向上等につながることから、研修形態（オンライン等）を検討し、達成するように努めること。</p>

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>人」の実績で、達成率は 84.7%となった。さらに水道部と下水道部両部の内部研修時間は令和 4 年度計画「10.0 時間/人」に対し、「8.8 時間/人」の実績で、達成率は 88.0%となった。3 つの成果指標には前年度実績を上回る成果を達成したのもあるが、目標に達していない部分もあることから、総合的に評価し「b」評価とした。</p> <p>（「a」以外となった理由等）</p> <p>台風 15 号災害対応等に伴い、外部研修の派遣を取り止めたり、内部研修を中止としたことにより、研修の受講機会が少なくなったため。</p>		

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
<p>5 信頼される経営を確立する。</p> <p>（3）財政の健全化</p>	<p>「① 新たな収入の確保」          «上下水道経営課» [b 評価]</p> <p>新たな収入の確保について、長期債券購入では令和4年度計画どおり、水道は「2億円」、下水道は「11億円」購入し、水道事業では10年満期の電力債、下水道事業では20年満期の地方公募債などを購入した。</p> <p>また、新たな収入の検討では、令和4年度計画どおり「資産の有効活用検討」を実施し、庁舎駐車場の有料貸し出しについて、再公募を実施するとともに、局が保有する土地や建物などの資産について、新規貸付の募集やその他有効活用の検討を実施した。</p> <p>成果指標である利益収入増加額としては、水道事業では、令和4年度計画「1,772千円」に対し、「1,825千円」の実績で、達成率は103.0%、下水道事業では令和4年度計画「7,902千円」に対し、「7,703千円」の実績で、達成率は97.5%となった。</p> <p>新たな収入額としては、庁舎駐車場賃貸借業務において、再公募が契約に至ら</p>	<p>「① 新たな収入の確保」に対する評価          委員 13 名のうち、[b 評価] 13 名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎駐車場の賃貸借業務はうまくいかなかったが、使用済みリモートメーターの分解分別売却という、まさに<u>新たな収入の確保の道を開拓できたのは素晴らしい。</u>これからも新たな発想で収入の道を模索して欲しい。</li> <li>・今後の人口減少を勘案し、必要な対策の確保をお願いしたい。</li> <li>・引き続き取り組んでいただきたいです。</li> <li>・<u>他の自治体や企業における不動産の貸付の事例を参考にされても良いのではないかと思います。</u></li> </ul>	<p>[b 評価]</p> <p>新たな収入の確保について、計画をやや下回っている。</p> <p>受け身ではなく、こちらから積極的に働きかけていく姿勢は評価できる。さらに他の自治体や企業の例を取り入れるなど模索してほしい。</p> <p>難しい取組ではあるが、財源の確保につながるため進めていただきたい。</p>



政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>なかったものの、水道用地の新規貸付及び使用済みリモートメーターの分解分別売却により、令和4年度計画「7,154千円」に対し、「2,629千円」の実績で、達成率は36.8%であった。</p> <p>計画値と実績値の総額による達成率が72.2%であるため「b」評価とした。</p> <p>（「a」以外となった理由等）</p> <p>成果指標のうち、新たな収入の検討における「庁舎駐車場賃貸借」について、計画では令和2年度の契約年割額7,154千円を計上したが、新型コロナウイルス感染症による収益性の低下を理由に年度途中での契約解除となり、令和3・4年度に再公募したものの契約に至らず実績が0円となったことによるものである。</p>		

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>「② 企業債残高の適正な管理」            «上下水道経営課» [a 評価]</p> <p>企業債残高の適正な管理について、水道事業の企業債借入額及び元金償還金が令和4年度計画「35億円」及び「25億円」に対し、「17億円」及び「24億円」となった。次に下水道事業の企業債借入額及び元金償還金が令和4年度計画「89億円」及び「102億円」に対し、「71億円」及び「102億円」となった。</p> <p>具体的な取組として、借入と償還を計画的に行い、企業債への過度な依存とならないよう適正な管理を実施した。</p> <p>また、水道事業の年度末における企業債残高は、令和4年度計画「453億円」に対し、「437億円」の実績で、達成率は103.7%となった。次に下水道事業の年度末における企業債残高は、令和4年度計画「1,406億円」に対し、「1,388億円」の実績で、達成率は101.3%となった。2つの成果指標を勘案し、目標達成に向けて、計画どおり成果が出ているため、「a」評価とした。</p>	<p>「② 企業債残高の適正な管理」に対する評価            委員 13 名のうち、[a 評価] 12 名            [評価なし] 1 名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>安定した事業の持続のため、今後も十分な努力を期待したい。</u></li> <li>・会議でも出ましたが今後は人口減少に伴い収入減となっていくので<u>次世代の負担を減らすためにもより緻密な計算が必要になってくる</u>と思います。</li> <li>・<u>企業債残高は、どういう数字であれば適正と言えるのか、分かりやすい説明を聞きたい。</u>【評価なし】</li> </ul>	<p>[a 評価]</p> <p>企業債残高の適正な管理について、計画どおりに進捗している。</p> <p>固定経費が多いと、運転の工夫が費用の節減に生きてこないため、企業債残高の減少を目指し、引き続き適正な管理に努めること。</p>

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>「⑤ 収納率の向上」  「お客様サービス課」 [a 評価]</p> <p>収納率の向上について、活動指標の実施内容上段の「給水停止予告通知書発送」を令和4年度計画「19,000通」に対し、「18,792通」実施した。中段の「受益者負担金一括納付の勧奨」を、令和4年度計画どおり「3回」、下段の「申告書提出督促実施」を計画どおり「1回」実施した。</p> <p>なお、給水停止予告通知書発送について、実績値が計画値を下回る結果となった要因は、給水停止に至る前の現年催告の実施強化により予告通知書発送対象者を削減できたこと及び昨年9月の台風15号の影響を鑑み10月の予告通知書の発送を中止したことによる。</p> <p>次に成果指標の指標名上段の「水道料金収納率」は令和4年度計画「99.21%」に対し、「99.06%」の実績で、達成率は99.8%となった。</p> <p>中段の「下水道使用料収納率」は令和4年度計画「99.15%」に対し、</p>	<p>「⑤ 収納率の向上」に対する評価  委員 13 名のうち、[a 評価] 13 名</p> <p>・<u>今後も収納率の向上に努めていただきたい。</u></p>	<p>[a 評価]</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>収納率の向上について、計画どおりに進捗している。  負担の公平性確保や安定した事業継続のため、今後も収納率の向上に努めること。</p> </div>

政策・施策名	自己評価（上下水道局）	外部評価（各委員の評価）	外部評価 まとめ(案)
	<p>「99.08%」の実績で、達成率は 99.9% となった。</p> <p>下段の「受益者負担金収納率」は令和 4 年度計画「93.67%」に対し、「98.42%」の実績で、達成率は 105% となった。3 つの成果指標を勘案し、「a」評価とした。</p>		